
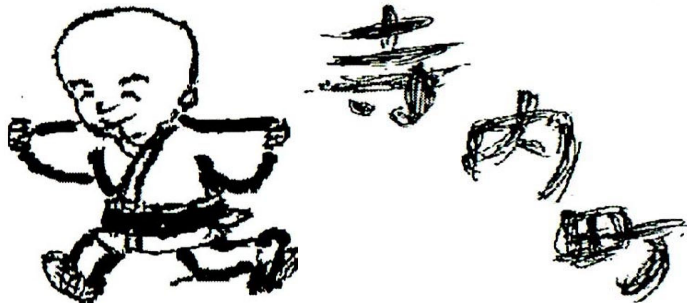


今回の瓦版は、会員以外の世帯にも
配布させていただいています！

* 瓦版は、3月・7月・11月の年3回の発行です。

* 本瓦版(pdfファイル)は、連携ホムペ「富田林寺内町の探訪」からダウンロードすることもできます。






JINAIMACHI KAWARABAN Vol. 58

瓦版 / 58号

題字 / 尾谷 正隆さん（御坊町）



平成二十六年年度総会

平成二十六年五月二十五日（日）午後一時三十分から「じないまち交流館」一階において「富田林寺内町をまもり・そだてる会」の総会が開催されました。



当日は、多田市長をはじめ、吉村府議会議長、鈴木府議会議長、山本市議会議長、さらに伝統的建造物群保存審議会委員の吉本市議会議員、同京谷市議会議員、上原市議会議員、堂山教育長に来賓としてご出席いただきました。なお、当日の参加者数は、五一名（委任状一三七名）でした。



第一部

総会第一部は、橋川会長の挨拶に始まり、来賓の多田市長、山本市議会議長、吉村府議会議長、鈴木府議会議員にご祝辞をいただきました。

続いて来賓の方々の紹介の後、本年度の議事に移り、平成二十五年年度の事業報告や会計報告（じないまち交流館会計を含む）ならびに平成二十六年年度の事業計画や会計予算（じないまち交流館会計を含む）が審議され、全会一致で承認されました。




第二部

第二部では、工学院大学建築学部制作のDVD「日本いちばん美しい町並」から、「奈良県五條市五條新町」、「奈良県宇陀市松山」、「和歌山県湯浅町湯浅」が上映されました。これらの地区の町並も、修景が進み、美しく風情のある佇まいを見せています。また、地区の町並み整備関係の会長さんのお話からは、住む人のいなくなった家を維持管理していくことの大変さも伺えました。これは共通の課題でもあり、互いに知恵を出し合って町づくりを進めていきたいものです。

新理事・役員・部会委員の紹介（順不同）

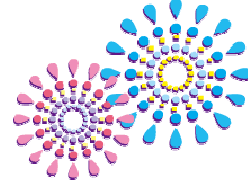
今年、理事の定例改選の年でした。下記の通り新しい理事が承認されました。

【新理事】（◎印は連絡委員、○印はサブ連絡委員です。）

- | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|---|------|
| ・ [一里山町] | 橋川光司 | 大塚健治 | ◎泉 時代 |  | |
| ・ [富山町] | ◎嶋田 實 | 松井重夫 | ○和田幸雄 | | |
| ・ [北会所町] | ◎柳本恵三 | 西谷宏實 | 芝本重子 | | |
| ・ [南会所町] | ◎澤武 修 | 中林成悟 | 田中新之助 | | |
| ・ [堺 町] | ◎田守邦彦 | 浅野良文 | 和田孝雄 | | 橋本讃史 |
| ・ [御坊町] | 長谷英男 | ◎尾谷正隆 | 田中 實 | | 井上正勝 |
| ・ [東林町] | 中尾友保 | ◎木口俊彦 | ◎中井隆洋 | | |
| ・ [西林町] | 神谷光雄 | 松下順悟 | | | |

また当日は、新理事によって新役員の選出も下記のとおりされました。

【役員】

- | | | | | | | |
|------------|------|----------|-----------------|--|------|------|
| ・ (会 長) | 橋川光司 | | |  | | |
| ・ (副 会 長) | 神谷光雄 | 中尾友保 | | | | |
| ・ (事務局 長) | 木口俊彦 | | | | | |
| ・ (事務局 次長) | 中井隆洋 | 《交流館館長》 | | | | |
| ・ (事務局 次長) | 嶋田 實 | 柳本恵三 | 中林成悟 | | 和田孝雄 | 長谷英男 |
| ・ (会 計) | 澤武 修 | 《交流館副館長》 | (まもり・そだてる会、交流館) | | | |
| ・ (監 事) | 浅野良文 | 尾谷正隆 | | | | |

またその後、各部会委員は、下記のとおりになりました。

【部 会】（◎印は部会長、○印は副部会長です。）

- | | | | | |
|-----------------|-------|-------|------|--------|
| ・ <u>企画事業部会</u> | 松井重夫 | 西谷宏實 | 澤武 修 | 田守邦彦 |
| | ○浅野良文 | ◎中尾友保 | 田中 實 | 神谷光雄 |
| ・ <u>研修部会</u> | 泉 時代 | ○嶋田 實 | 芝本重子 | ◎中林成悟 |
| | 橋本讃史 | 長谷英男 | 木口俊彦 | 松下順悟 |
| ・ <u>広報部会</u> | 大塚健治 | 和田幸雄 | 柳本恵三 | ○田中新之助 |
| | 和田孝雄 | 尾谷正隆 | 井上正勝 | ◎中井隆洋 |

今年の「寺内町燈路」は、 8月30日（土）に開催します！



寺内町燈路も今年で十一年目を迎えます。今年は八月三十日（土）に開催します。希望者には、八月三日（日）より、じないまち交流館にて行灯を一基千二百円でお分けします。詳しくは、じないまち交流館（TEL 0721-26-0110）へお問い合わせください。

今年の「寺内町清掃」は、 9月14日（日）に開催します！

詳細は別途お知らせいたします。

今年の「寺内町月見の会」は、 9月8日（月）に開催します！

詳細は別途お知らせいたします。

今年、当会発足後20年目になります。

20周年記念事業「寺内町フェスティバル」は 11月15日（土）・16日（日）に開催します！

15日（土）前夜祭
16日（日）寺内町サミット・コンサート
詳細は別途お知らせいたします。

☆交流館だより☆ ◎ギャラリー展示予定

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 七月一日～三十一日 | 平木佳代子 | 書写作品展 |
| 八月一日～八月三十一日 | まもり・そだてる会 | きの絵作品展 |
| 九月三日～三十日 | リアルアート | 絵画作品展 |
| 十月一日～十三日 | アート仲間 | 絵画・写真展 |
| 十月十五日～三十一日 | 南河内退職教職員会 | 絵画・書・写真・陶芸展 |
| 十一月一日～十五日 | 土筆の会 | 書道習作展 |
| 十一月十六日～三十日 | 友愛の里 | 書道展 |

富田林寺内町 来訪者 歓迎キャンペーン

こんにちは！ 笑顔であいさつ 歓迎を

我が町の思い出話
南会所町

私が生まれたこの町の思い出と昔話についていくつか書いてみました。

(1)「屋号」
屋号を広辞苑で調べると「商家」などの家につけられた称号と載っています。南会所町と北会所町の町屋で寺内町マップに出ているお家の屋号を調べてみると、葛原家は「たばこ屋」、奥谷家は「岩瀬屋」、佐藤家は「佐渡藤」、越井家は「平尾屋」となっています。

私の昔の家は明治の初期に建て替えられていたようですが、転勤で長期家を空けていたこともあり、屋根ガワラが落ちそうになり、取り壊そうと決め平成3年に解体しました。解体工事に立ち会った時、二階の庇に墨書きで「車屋」という文字を見つけたので亡き母に確かめたところ、当家の屋号だと言われました。初代(私から数えて五代まえに当たります)は新兵衛と名乗っていました。だから、当時は「車屋の新兵衛さん」とか「車屋の新しい」と親しみを込めて呼ばれていたのではないかと考えています。同じ名字の家がたくさんある地域では、屋号はその家を特定するための識別子としての役割を持つとともに親しみを込めた呼

び方としての役目があったのではと思っています。
(2)「会所」
会所を広辞苑で調べると、集会所、寄り合いをする場所と記載されています。
寺内町の中の町名で「会所」の文字が入っているのは、南会所町と北会所町の二つです。会所の在った場所は、現在の南会所町の中村さんの家の裏側で南北から出入り出来た様です。また、組織としては、近くの4ヶ村(中野、新堂、山中田、毛人谷)の庄屋株各2人、計8人で運営されていたのではないのでしょうか。現在の南会所町の町会の組織は会長・副会長・会計・会計監査及び老人会会長の各1人、計5人で運営しています。集会所は交流館の二階の会議室で行っています。現在の交流館の二階が昔の会所の様な使われ方になっている様に思われます。

(3)「遊び」
ベーゴマ・ベッタン・ラムネ玉の様な大抵の人が遊んでいた様な遊びの他に、次の様なあまりやったことのない遊びを紹介してみようと思います。
①「ホイラン」(この様に呼んでいたと思う)と「ヤンマリ」
この遊びは銀ヤンマリを取る遊びです。小さい釘を2個用意して「n」状態に折り曲げて中央部を細い糸(50センチ程度)で結んだものを用意します。広い場所、よく遊んだものは現在のダイエー、昔は越井家の貯木場跡で広

い広場になっていました。用意した遊具(紛失するのでいくつか持っていきます)で「ホイラン」と称して銀ヤンマリがやってくるその目先に高く投げます。ヤンマリは虫と間違え急降下してくると糸がからみついて地面に落ちてくるといふ仕組みになっています。ヤンマリを取りに行くのは夕方です。いつもかなりの数取ることが出来ました。次に「ヤンマリ」について書いてみます。取ったヤンマリを「雄」と「雌」に区別します。どのように区別したのか今では覚えていませんが、「雌」のヤンマリを細い糸(2メートル程度)で結んで細い竹竿の先に取り付けて石川の堤防などで飛ばすと「雄」のヤンマリが飛びついてきて絡み合いそれを網で取り込んでしまうのです。この方法で何匹もヤンマリを取った記憶があります。今で言う「雌」のヤンマリはキヤッチガールの様なものではないでしょうか。
②「魚取り」
子供の頃(昭和25・26年頃)の石川は水量も多く水も清く澄んでいて多くの種類の魚が住んでいました。よく釣りましたが、特殊な方法で魚を捕った事があるのでそれについて書いてみます。小学校の5年生の時と書いてみます。理科の授業で電池を使って豆電球を点灯するのを教わりました。その時の注意事項として水に濡れた手で電気を近づけるとビリビリと感電するで電気がつくように言われました。これを魚取りに利用できないかと考えた。家にあった自転車のランプを思いつきました。昔の石川は、竹で編んだ円筒形(2・3メートル程度)の物(ジャリカゴと呼んでいました)の中に人の頭より少し小さい石を何個も入れたものを数多く用意して川岸にしきならべ護岸用としていました。ジャリカゴの石の間には「オイカワ」や「ウナギ」などの魚が住み着いていました。魚取り用として思いついた自転車のランプを取り外し「+極」と「-極」にし、それぞれに針金を結びそれをそれぞれ竹竿に巻きつけて、ジャリカゴの中に踏み込んで、自転車のペダルを力一杯踏み込むと電流が発生し「パシー」という音とともに「オイカワ」や「ウナギ」が浮き上がってくるという仕組みです。ペダルを漕ぐのをやめて浮き上がった魚を回収して家に持ち帰ったことがありました。

(4)井戸
昔の寺内町の町屋にはほとんど一軒に1個は井戸がありました。私の家の隣のお寺には3個か4個もの井戸があったと思います。利用方法は炊事・洗濯・風呂用・花にかけるといろいろいな使われ方がありました。
また別の方法として、「スイカ」や「ビール」などを網かごの中に固定して井戸に吊すとこの網かごの中に固定して井

が経過すると適度に冷えて「スイカ」などがおいしく頂けるというわけです。現在の冷蔵庫の役割としても利用されてきました。私の家の前にも井戸があり、遊びから帰った時は必ずそれで水をくみ手・足・顔を洗ったものです。夏の夕方などには井戸端に縁台などを出して「花火」や「将棋」などを遊んでたことが思い出されます。
(5)浄谷寺
浄谷寺は南会所町と北会所町の間にあり、私の家の隣にあるお寺です。正式には半偈山三仏院浄谷寺と言います。正面の表門の前には、河内西国第十九番霊場浄谷寺という石柱が立っています。寺が本山でその末寺に当たります。また、富田林市史の第2巻の西国三十三度行者組織の章に記載されているのですが、浄谷寺は大念仏寺の末寺と西国三十三度行者組織の拠点寺院との二面を持つていたお寺であった様です。お寺の南側には池が広がって昔は亀がたくさん遊んでいました。夏場は池の岸に這い上がって甲羅干しをしていたのをよく見かけました。また、どの様に登ったのか判りませんが、私の家と浄谷寺の間にある瓦屋根の上をゆつくりと歩いているのを見かけたことがあります。お寺の境内には子供の頃の遊び場、おにごっこ、かくれんぼ、かんけり等をしてよく遊んだことが思い出されます。
(南会所町 田中新之助)

最近感じること二題
○なつかしき石川
もう、五、六十年前になりませんが、子供の頃、鰻や鯉等の大物ではではなく、鮎、もろこ、めだか、雑魚、ザリガニ等の小物を、川に石を投げて水際の水を草に追い込み、手を突っ込んで取る遊び(掴みどり)をよくしました。良いものが捕れるか、怖いものを掴むか毎回ドキドキしたものです。
今は、山の森林が荒れているのか、水の利用が多過ぎるのか、川の水量が豊かだった昔に比べ、水量が安定しないように感じます。水質は、最近ではよくなっているようですが、水中の生物の種類が減少し寂しく感じます。
○動物愛護に物申す
最近、イルカや鯨などを可愛い、賢い、綺麗等と持て囃し、何か変な感覚で命や食物をどらえる風潮があります。どんな生き物もそれなりの生き方、適正な食糧があるものです。人間は雑食動物ですので、適切に自然を管理・保護し、自然の生命によって生かされていることに感謝し食さなければなりません。翻って最近の日本の捕鯨を政治活動や暴力で反対する外圧には義憤を禁じ得ません。また危険な動物の飼育や猫の排便、排尿、交配等で他人に迷惑をかけるので欲しい。それが出来ない者は、動物園や植物園でそれらに触れるだけにして欲しいと思います。
(御坊町 尾谷正隆)

興正寺別院が 国の重要文化財に！

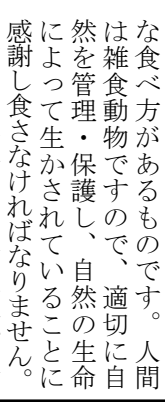


当会発足後二十一年目となる本年の五月十六日に、富田林寺内町の発祥の起点となった興正寺別院が、国の重要文化財に指定されることになりました。これで富田林寺内町内には、旧杉山家住宅と合わせて二件もの重文が存在することになります。今後は一層取り組んでいきたいものです。

第四回 石上露子生誕祭が開催されました！

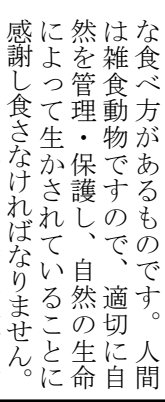
六月七日(土)と十四日(土)の両日にわたり、市教育委員会と露子生誕祭実行委員会(露香会)主催による第四回石上露子生誕祭が盛大に開催されました。六月七日午後には、旧田中家住宅にて「じないまちの魅力」について、パネルディスカッションが行われ、演劇「露子と正平」の出演者達が、専門家の進行の下で、熱心に語り合いました。また六月十四日には、露子の生家・旧杉山家住宅にて、献花・供茶・箏曲演奏による厳かなセレモニーの後、お茶会や黄昏コンサートが行われました。また旧田中家住宅では、露子にちなんだ文学講演会も行われました。参加された人達は、歴史的な町並みと旧家の雰囲気の中で、文化の香り高い時間を楽しまれました。

新職員紹介
南会所町在住の小野良枝です。四月からお仕事をさせていただきます。寺内町に住んでいます。約三十年間ここでまだ知らない事が多く、日々勉強中です。
交流館に来て下さった方々に気持ちよく利用していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。



生誕祭 黄昏コンサート

広報部会
委員長 田中新之助
副委員長 中井隆洋
委員 大塚健治
委員 和田幸雄
委員 柳本恵三
委員 和孝雄
委員 尾谷正隆
委員 井上正勝
(順不同)



まもり・そだてる会活動報告

Table with columns: 月 (Month), 日 (Day), 会議名 (Meeting Name), 内容 (Content), 場所 (Location)

Table with columns: 月 (Month), 日 (Day), 会議名 (Meeting Name), 内容 (Content), 場所 (Location)

Table with columns: 月 (Month), 日 (Day), 会議名 (Meeting Name), 内容 (Content), 場所 (Location)

Table with columns: 月 (Month), 日 (Day), 会議名 (Meeting Name), 内容 (Content), 場所 (Location)

Table with columns: 月 (Month), 日 (Day), 会議名 (Meeting Name), 内容 (Content), 場所 (Location)